

第 32 回日本肥満学会開催の御礼

この度は、第 32 回日本肥満学会の開催に際し、格別のご指導並びにご支援を賜り、誠に有難うございました。

今大会は栃木県宇都宮市にて開催の予定でしたが、3 月 11 日の東日本大震災を受け、より確実に開催できることを最優先し、淡路夢舞台に移しましたことから、準備に遅れが生じ、皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

2011 年の厳しい環境にも関わらず、400 題余の一般演題の応募があり、会期中 1200 名を超える方々にご参加頂き、活発なご討議をいただきました。これも偏に皆様のご協力の賜物と深く感謝いたしております。

今大会では、「肥満症診断ガイドラインとコホート研究」「肥満症治療の戦略」に関して学会からメッセージを発信し、「肥満症専門医」「生活習慣病改善指導士」制度を立ち上げ、関連するシンポジウムを企画しました。また、「大震災と慢性期のリスク」に関する貴重な報告があり、さらに、大会テーマの「全身・脳クロストーク」、エピゲノム、炎症、生体リズムなど新鮮な切り口からの肥満症へのアプローチが示されました。肥満の基礎～臨床の各々の分野の第一人者である 3 名の海外招聘学者から特別講演をいただきました。これらを基に、肥満症の克服への新たな確かな歩みを期待して止みません。

皆様のより一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成 23 年 10 月吉日

第 32 回日本肥満学会
会 長 矢田 俊彦